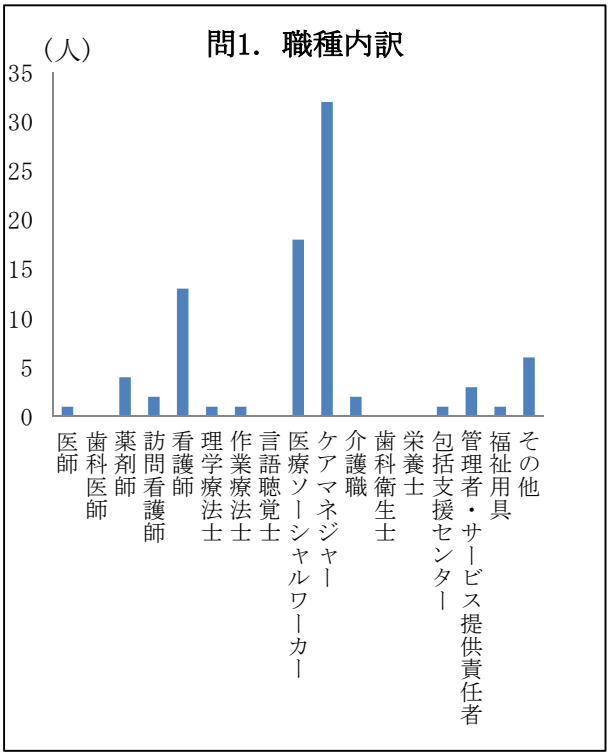
問1．回答者の職種内訳

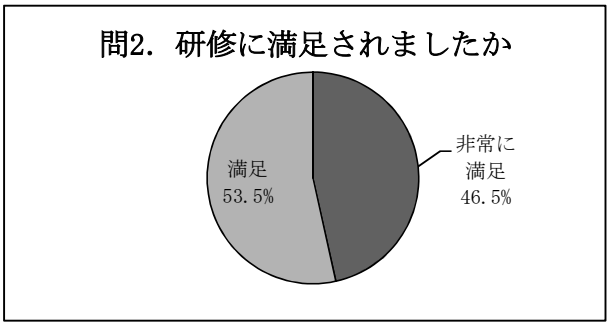
職種	人数	割合
医師	1	1.2%
歯科医師	0	0.0%
薬剤師	4	4.7%
訪問看護師	2	2.3%
看護師	13	15.3%
理学療法士	1	1.2%
作業療法士	1	1.2%
言語聴覚士	0	0.0%
医療ソーシャルワーカー	18	21.2%
ケアマネジャー	32	37.6%
介護職	2	2.3%
歯科衛生士	0	0.0%
栄養士	0	0.0%
包括支援センター	1	1.2%
管理者・サービス提供責任者	3	3.5%
福祉用具	1	1.2%
その他	6	7.1%
無回答	1	

その他：入居連携、診療放射線技師、事務、ショートステイ生活相談員



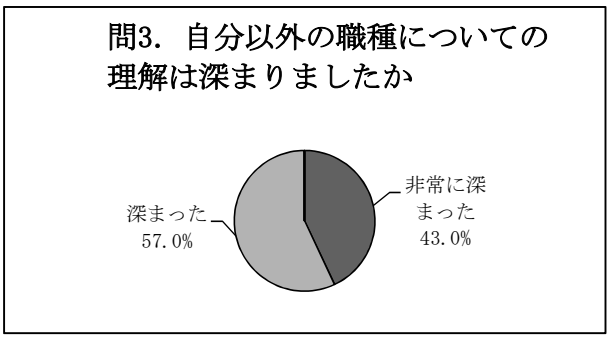
問2．研修に満足されましたか。

項目	人数	割合
非常に満足	40	46.5%
満足	46	53.5%
どちらでもない	0	0.0%
不満	0	0.0%
非常に不満	0	0.0%



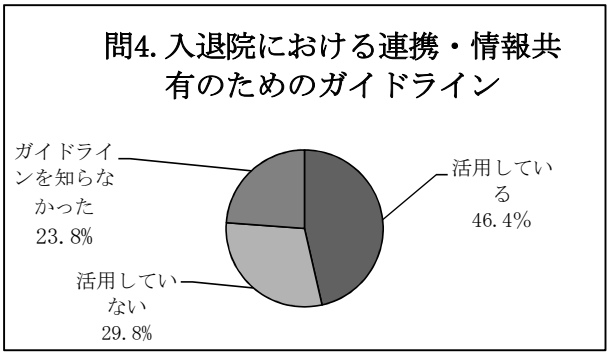
問3．自分以外の職種についての理解は深まりましたか。

項目	人数	割合
非常に深まった	37	43.0%
深まった	49	57.0%
あまり深まらなかった	0	0.0%
深まらなかった	0	0.0%



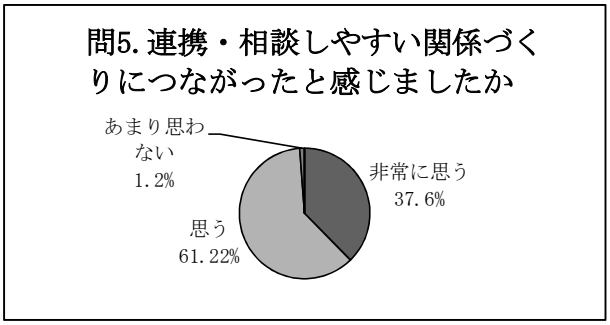
問4.「入退院における連携・情報共有のためのガイドライン」について活用していますか。

項目	人数	割合
活用している	39	46.4%
活用していない	25	29.8%
ガイドラインを知らなかった	20	23.8%
無回答	2	



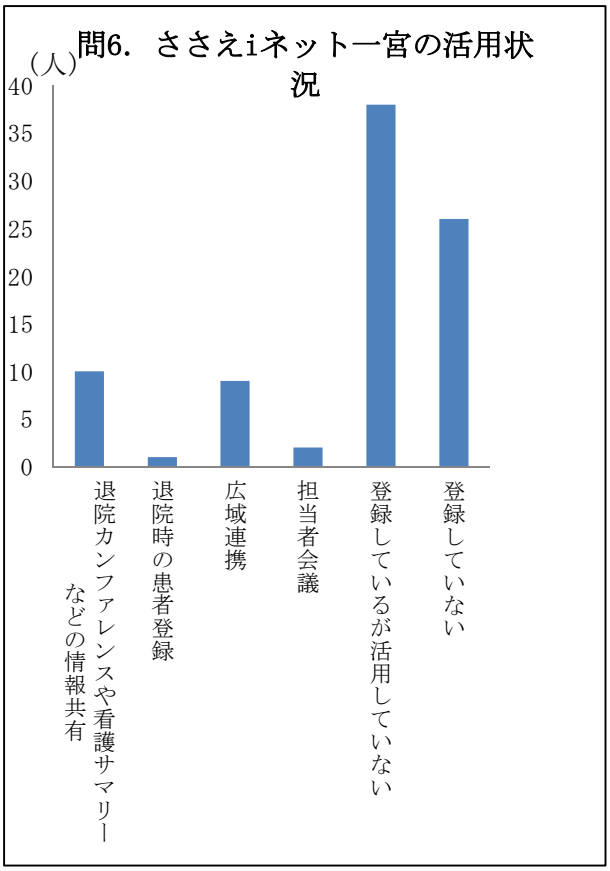
問5. 入退院支援について、連携・相談しやすい関係づくりにつながったと感じましたか。

項目	人数	割合
非常に思う	32	37.6%
思う	52	61.2%
あまり思わない	1	1.2%
思わない	0	0.0%
無回答	1	



問6. 入退院支援におけるささえiネット一宮の活用状況（複数回答）

職種	人数	割合
退院カンファレンスや看護サマリーなどの情報共有	10	12.3%
退院時の患者登録	1	1.2%
広域連携	9	11.1%
担当者会議	2	2.5%
登録しているが活用していない	38	46.9%
登録していない	26	32.1%
無回答	5	



問7. 入退院支援において課題と感じること

＜情報共有＞

・情報共有ツールの活用。ささえiネット一宮が活用できるとよい。8件
・退院前カンファレンスを聞きたいと思うが、なかなか時間が取れない（多職種が集まるとなると）6件
・連携シート、サマリーの内容。6件
・情報共有を行うことが課題だと再度感じました。4件
・細かい情報交換をしていくにはどうしたら良いか、どのタイミングが良いかが課題。3件
・情報共有の仕方　3件
・MSWさんが忙しすぎるため、対応が難しくなっている。2件
・連携しづらいと思われていること。こちらとしても連絡、情報があることや患者のことをかかわって気にしている関係者がいることの安心感があることを知ってもらいたい。
・病院が伝えたいこと、在宅側が知りたいこととマッチしない。
・入院先から頂いた情報が、現状と違うことがある。2件
・多職種間がもっとコミュニケーションをとらないと、病院と在宅につながりが見られず、ばらばらに感じる。

＜時間＞

・入院～退院の時間が短くなっていると思うが、退院時までに自宅の環境整備やサービス調整が間に合わないことがある。4件
・介護認定が下りるまでに時間がかかり、ENT時のサービス、施設選定に時間がかかっている。
・入院当日は情報を送ることが難しい。業務があてこんでいたり、利用者からの連絡が遅くなると困難。
・医療-介護のスピード（特に急性期HP)が年々早くなり、情報共有が難しくなっている。
・急な場合、情報が揃わない場合がある。
・急性期からの退院だと準備の時間もなく、日程が決まる。連絡受けてから2日後とか。

＜家族との連携＞

・キーマンとなる家族との関係、関わり方が大切と思った。
・本来、本人の意向を尊重すべきところだが、金銭等、介護力等の問題から、家族の意向に添う形になってしまう。また、環境調整をする中で、社会資源を家族が知らない為、MSWの言う通りのことしかできない。
・（家族との関係が希薄）本人の状況を家族が理解していないことが多い。
・病院と家族との本人像が違う。
・家族がしっかりと退院にむけて協力してくださる方ばかりではないこと。
・患者も介護度、ケマネジャーの名前が分からないということが多い。
・家族以外での連携のとり方をすすめてほしい。
・家族の関係性がうすい。核家族が増えているため。本人より、家族の意向で進むことが多い。

＜その他＞

・退院後の情報を確認して振り返りをすることができていない。2件
・身寄りがいない方について、どうしたらと悩みます。
・入院前からのACP。
・他職種の方の意見や思いを聞けて参加して良かった。
・急性期病院における医師・看護師の理解。
・入職したばかりで一宮市のルールがわかっていないので、戸惑いもありますが、積極的に連携を図っていきたいと思います。

・資産が少ないと意向が変わる。
・連携シートをMSWが受け取って頂いて、内容を読んで頂いているかが心配でした。
・地域の多職種の方の意見を聞き、今以上に連携する意識が大切だと感じた。
・様々な分野からの話を聞くことができ、違う方向からの意見もたくさん聞くことができて非常に勉強になりました。次回も参加させていただきたいです。

問8. 研修への意見、今後企画してほしい内容

＜医療ソーシャルワーカー、入退院調整看護師＞

・今後も参加をして連携をはかるようにしていきたい。
・顔の見える関係性、今後も継続して研修してもらいたい。
・グループワークの課題（内容）をもう少し絞った方が話がまとまった。

＜ケアマネジャー＞

・直接病院の方とお話できて、知らないことがたくさんあり、勉強になりました。
・今日の情報交換は、いろいろな視点で入退院に関して理解できた。
・MSWや看護師の意見がきけたため、大変参考になりました。
・他のケアマネジャーや病院側の思いなどを知ることができて良かったです。
・今後は退院後も病院と連携を図りたい。
・退院カンファレンスや在宅患者様に提供できる支援が増えるのではと実感した。
・今回の様な多職種と話すことで、知ることも多いのでお願いしたい。 プランについてもいろいろと知りたい。

＜その他のテーマ＞

・自宅での看取りについても、話し合いができたらよいと思います。
・障害と介護保険利用の方

＜グループワークについて＞

・多職種の方の意見を知ることができてよかったので、今後もこの様な機会があればと思います。
・本日は多職種の方と深い交流ができました。今後もこのような企画をして頂きたいです。
・同職種同士での悩みや困ることなど共有できるような場があるといい。
・グループワークをメインとした、今回のような研修を増やしてほしい。
・グループワークの時間がたくさんとれて、お話をたくさん聞けてよかったです。
・議題以外の話し合いも可能だったのが良かった。
・引き続き、地域の多職種の方々と顔の見えるお付き合いができるとよいと考えます。
・顔の見える関係で意見交換することができて良かった。